

2023年6月26日  
株式会社 演算工房

## トンネル材料受発注管理システムenCommerceの現場導入開始

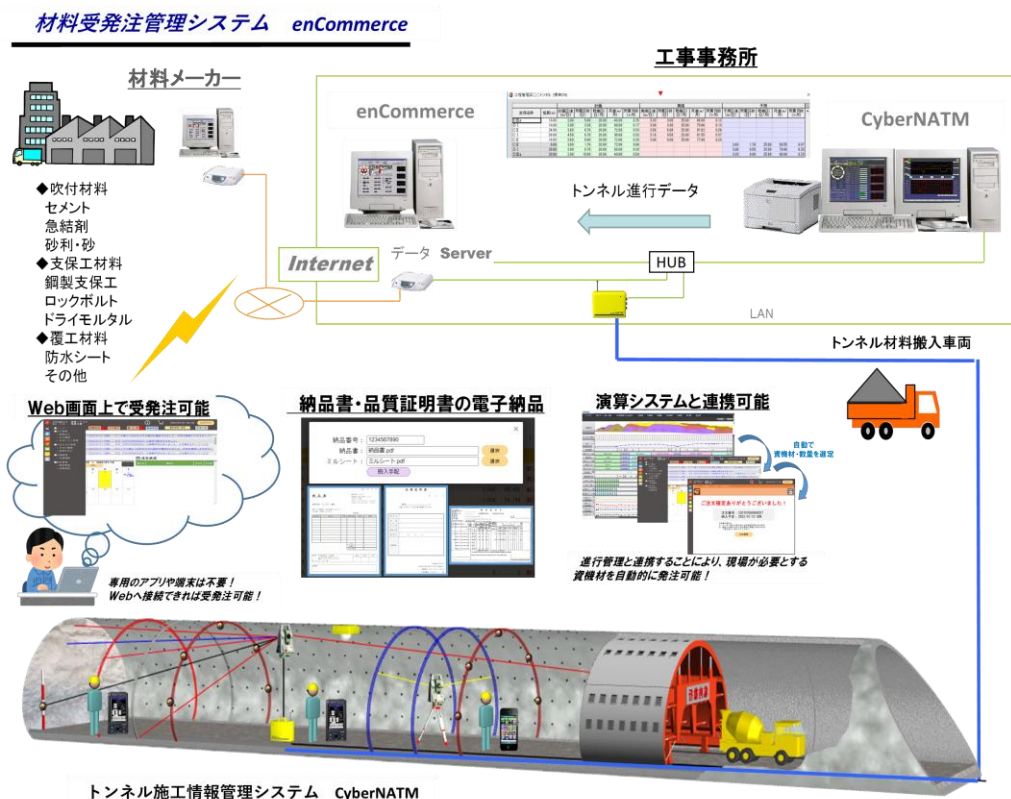
株式会社 演算工房（本社：京都市、代表取締役：林稔）は、トンネル工事向け材料受発注システムenCommerce（エンコマース）を開発し、現場での試行を開始した。今後外販を予定している。

enCommerceはトンネル工事の施工に伴う使用材料等の受発注をクラウド上で行い、管理することができるシステムである。従来、トンネル工事における受発注は電話やFAXで行っていたが、本システムを使用することによりクラウド上で受発注、在庫、ロス率等を一元的に管理することが可能となる。

本システムは受発注情報の明確化や業務効率の向上を目的としており、最終的には自動発注機能等を実装し、職員業務の30%低減することを目指している。

本システムは”支保パターンに応じた材料情報”や“施工実績に基づいた進行情報”等のデータを用いて、トンネル工事で使用する各種材料の搬入時期を予測し、それに応じた受発注の管理や提案を実現している。

またこの予測に必要な施工実績等のデータはトンネル施工情報管理システム「CyberNATM」から得ることも可能となる。



現在建設業界においてDX化が求められる中、本システムは2022年9月より国土交通省等発注のトンネル工事6現場で協力を得ながら実証実験を重ね、各現場での要望を受けてバージョンアップを行っている。また、本システムを通じて材料の供給会社側に対しても現場の工程予測が共有される為、「材料の準備」や「配車手配」等の運用管理が支援され、結果として建設業界全体のDX推進に繋がっている。

さらに演算工房は山岳トンネルだけでなくシールドトンネルにも本技術の活用を計画しており、トンネル工事が今後最盛期になると見込まれるシンガポール、ジャカルタ、マニラ等の東南アジア諸国に展開できる仕組みを視野に入れている。

